

第8回 武蔵野市生涯学習計画（仮称）策定委員会会議要録

日時	平成22年1月25日（月） 午後7時00分から9時00分	
会場	武蔵野地域自由大学交流センター	
出席者	委員 （敬称略）	◎林大樹、○倉持伸江、小町友則、白井龍男、飛山堪子、富川昌美、 渡邊一衛、萱場和裕 （◎委員長、○副委員長）
	事務局	生涯学習スポーツ課長、スポーツ振興・国体開催準備担当副参事、 武蔵野プレイス開設準備室副参事 ほか
	傍聴者	0名

【会議要録】

1 開会

2 （1）生涯学習計画（案）の検討について

① 1及び2について（2～11ページ）

- ・ 2ページ、「計画策定の目的」を「計画策定の背景」に変更。3ページ、計画の範囲について、パブリックコメントでの指摘を受け「生涯教育」を「本計画における生涯学習」に変更。6ページ、計画進行の管理を追加。7ページ、図表を追加。10～11ページ、グラフ・写真を追加。

【倉持委員】 3ページ、計画の範囲について、新教育基本法では生涯教育という言葉は使われていない。一定の価値観を含んだ言葉であるので、あまり使わない方がよい。「教育基本法に根拠を見出しうる生涯教育」という枠自体をとってしまっていないか。

【事務局】 例えば、「教育基本法に根拠を見出しうる生涯学習」としたらどうか。

【倉持委員】 「生涯学習」という言葉は学ぶ側に主体がある言葉で、「教育」は支援する側に主体がある言葉として使われているので、混乱の元となる。

【事務局】 図表については、「生涯教育」の枠自体をとることで修正したい。また、上の説明文も合わせて修正したい。

【小町委員】 生涯学習の3つの柱と民間の教育活動が並列になるのは問題ないか。

【委員長】 上の3つは「法にいう」ということで整理されているが、職業教育などは、民間によらないものも考えられる。

【倉持委員】 「その他」とか「上記以外」とでもしたほうがいいかもしれない。

【事務局】 修正したい。

② 基本理念及び施策体系について（12～14ページ）

- ・ 12ページ、上から3つ目の「◇」を追加。13ページ、施策体系の関係図を修正。

別紙にも別の案を提示。14 ページ、施策体系図を目的的に使えるよう、挿入位置を前に移動。2-2-4「食育について学ぶ機会の提供」を「食について学ぶ機会の提供」に修正。

- 【飛山委員】 体系図の位置は前のページに来て分かりやすくなったと思う。
- 【富川委員】 12 ページの◇印の2つ目、「学習者」という表現に違和感がある。
- 【小町委員】 13 ページと 14 ページを対比して見たとき、関係図と施策体系図が不整合。関係図のイメージはわかるが、体系図は1～4の部分と5及び6の部分が分離しており、5と6が同じ括りというのが理解できない。
- 【富川委員】 5と6は別々に出したらどうか。
- 【委員長】 基本理念の「ともに学び～」の位置を真ん中あたりまで移動して、5と6は別の線で基本理念につながるようにしたらどうか。
- 【事務局】 体系図の5と6は別々にしたいと思う。そのうえで、「ともに学び～」も真ん中あたりに置きたい。

③基本目標 1 及び 2 について (15～26 ページ)

- ・ 事業例は前回から名称を修正。また、取組欄は無くし、見直しなどが考えられる事業については、本文のなかで掲載。各施策の文章について、個々の施策ごとに内容を修正。
- ・ 16 ページ、1-1-3の土曜学校に関する記述を整理。24 ページ、2-2-4で食育に関する記述を追加。25 ページ、メディアリテラシーに関する記述を男女共同参画団体からの意見を踏まえて追加。

- 【委員長】 ★印がついている文言があるが何を示しているのか。
- 【事務局】 今後、用語の注釈を入れていきたいと考えている。
- 【渡邊委員】 20 ページ、障害者の「害」は、最近、「障がい者」とひらがなで書くことが多くなっている。市ではどうしているか。
- 【事務局】 固有名詞では「障害」となっているものが多いこともあり、市報など含めて漢字標記で統一している。話し言葉の場合は発言者の趣旨によってひらがな表記にするケースもある。委員会とし固有名詞以外はひらいたほうが望ましいというお考えであればそのように修正したい。
- 【萱場委員】 障害者の「害」という字よりも、障害者と健常者という表現は、障害のある方、ない方などとした方がよい。
- 【富川委員】 事業概要の文章は体言止めで統一してはどうか。
- 【事務局】 ご意見のとおり、文言等整理していきたい。
- 【倉持委員】 17 ページ、1-2にはリード文がタイトルの説明になっていないので書き込むべき。18 ページ、1-2-2のプレイスの機能はカッコ書きではなく、文章で説明したほうがよい。20 ページ、2-1のライフステージの例示がライフイベントになっているので表現を検討したほう

がよい。23 ページ、文化・芸術やスポーツについて、ニーズがあるからというだけではなく、心身の健康づくりや文化の醸成という必要課題の視点で記述するといいい。

- 【委員長】 少なくとも「障害者と健常者」は表現を変えたほうがいい。
- 【倉持委員】 漢字かひらがなかよりも、萱場委員のご意見と同じで取り扱いの方が問題だと思う。文章内での表現、使い方を注意する方が大事だ。
- 【事務局】 「害」の表記については最後の委員会で確認させていただきたい。
- 【委員長】 21 ページ、2-1-2で「ライフステージ」という言葉を使っているの、倉持委員のご指摘の部分と整合を図る必要があると思う。「仕事からのリタイア」や「ワークライフバランス」は後ろの文章で理解できるのでなくてもいいかもしれない。

④基本目標3及び4について（26～33 ページ）

- ・ 26 ページ、3-1-1で仕組みづくりや事業の展開等についての記述と事業例を追加。28 ページ、3-2-1でプレイスに関する記述を追加。30 ページ、4-1-1で交流の目的について記述と事業例を追加。

- 【委員長】 28 ページのゲストティーチャーとは市職員がするのか。また、ごみ総合対策課のみが行っているのか。
- 【事務局】 ごみ総合対策課の職員が行っている出前講座を掲載している。出前講座的な事業は健康課が行っている健康講座など数が少ない。出前講座については、今後、リスト化などを含めて検討していきたい。事業について、市の各課からという形で調査したため、学校などの授業は拾いきれていない部分もある。
- 【委員長】 事業はすべて網羅する必要は無いと思うが、記述の仕方が限定的になっているので、幅のある表現とした方がいい。
- 【事務局】 修正していきたい。

⑤基本目標5及び6について（33～39 ページ）

- ・ 34 ページ、人的資源の活用の土曜学校の主対象は小中学生に修正。
- ・ 36 ページ、5-2-2の説明文の下3行追加。37 ページ、6-1-1で「子ども武蔵野市史の発行」を追加。6-1-2～6-1-4でいくつか事業を追加。

- 【渡邊委員】 5-2-1で「メールサービスの検討」という新規事業があるが、情報通信機器を使って、もう少し幅広い事業としたほうがいいと思う。
- 【事務局】 携帯電話を通じたサービスはほとんど行っていないため、生涯学習スポーツ課が所管する託児付き講座で実験的に取り組み、需要があれば全庁的に広げていきたいと考えている。情報通信機器を使った幅広い情報共有化については、HPが使いにくいということで見直しの動き

があることからもう少し記述する余地があると思っている。

【委員長】 「検討」としているのはどのような理由からなのか。

【事務局】 個人情報等の問題もあるため、計画が策定された後、1年程度は検討期間をおいてから実施という意味で「検討」とさせていただいた。

【小町委員】 「託児つき講座メールサービス」という表現はわかりにくい。

【渡邊委員】 事業概要の記述もわかりにくい。

【事務局】 事業名は「メールサービスの検討」とし、概要で丁寧に説明したい。

【渡邊委員】 37ページ、6-1-1の「子ども武蔵野市史」について、概要では郷土史入門者向けとなっており、対象とかけ離れている気がする。

【事務局】 主な対象は子どもなので概要でも明記したい。また、ジュニア向けの資料は、郷土史の初学者にも使いやすいため、その記述も残したい。

【倉持委員】 主対象の部分はどの範囲を指しているのか分かりにくいものもあり、整理が必要ではないか。

【事務局】 整理をし、凡例をつけるなど、わかりやすくしたい。

⑥重点施策について（33～39ページ）

・体系図の順番で重点施策を掲載。「当面の取組」を新たに記載。

【倉持委員】 自由大学通信は、内容の拡充や配布先の拡大をしていくということか。

【事務局】 これまでも各大学の情報や活動団体の情報を載せるなど拡充はしてきたが、さらに発展させ情報の内容を充実させていきたい。自由大学生は18歳以上が対象で、登録無料であるため、送付対象は変わらないと思うが、HPでの情報提供などについては検討していきたい。

【倉持委員】 重点施策に取り上げるのであれば、大幅な内容の充実が必要なのではないかという気がするが。

【事務局】 民間情報も載せていくことが大きな変更点と考えている。

【渡邊委員】 生涯学習情報を充実させ生涯学習通信として発行するのであれば、自由大学通信ではなく、生涯学習通信を表題としたほうがいい。

【倉持委員】 そこまでいくと新規事業となってしまうと思うが、事務局としてそこまで想定しているか。

【事務局】 自由大学通信のリニューアルを想定しているが、生涯学習通信という位置づけにすると、パフレットとの差別化や庁内で出している子ども向けや高齢者向けの生涯学習情報誌との調整が必要となる。

【倉持委員】 パフレットは年1回発行の情報の施設や団体の情報のストックという位置づけで、ここで言う生涯学習通信は、リアルタイム情報という感じだと思う。委員としては実現してほしいが、行政としても相当の議論と調整が必要となるので無責任には書けないのではないか。

【事務局】 自由大学通信の内容を充実させ、生涯学習情報誌とすることは、現時点では費用面・マンパワーの面から難しいと思うが、プレイス情報も

含めて少しでも充実させる方向で検討させていただきたい。

【小町委員】10年の計画ということなので将来的な方向性は示せていけると良いのでは。現在できる範囲というよりも目標ということでも良いのでは。

【事務局】 将来的な目標として、上の説明文の中で表現してみたい。

⑦資料について（44～45 ページ）

- ・用語集、事業実態調査を手直したものの、パブリックコメントの回答を資料として添付予定。
- ・事業実態調査の表のスタイルについて説明。

【富川委員】事業の実態調査が、例えば「環境」「出前」「シニア」などのキーワードで分類されていると良いと思うがどうか。

【事務局】現在は、対象と開催の時間帯で整理している。そのなかで類似する事業は近接して並べたいとは考えている。

【富川委員】例えば、福祉というテーマで事業の実態調査のなかから事業を抽出することなどは可能か。

【事務局】見る方がどのような視点で探すかによるため、エクセルの表などで提供し、使う人が検索できるのが一番いいと思うが、紙ベースで実現するのは難しい。分野別の整理はガイドブックを含め検討していきたい。

【委員長】情報の共有化に関わる重要なご指摘だと思う。今回は無理かもしれないが、将来的には検索ができるようなものを考る必要がある。

【事務局】市報やHPのイベント情報についてももう少し気軽に見やすくということが課題になっている。全庁的な視点で検討することになると思う。

【小町委員】事業名は特に必要無いのではないか。

【倉持委員】どのように使われるかわからないので、情報量が多い方がよい。

【委員長】字は大きい方がよい。

【事務局】できるだけ見やすい形で次回の委員会ではお示ししたい。また、担当係の欄はできるだけ正確に表記できればと考えている。

3 その他

- ・次回策定委員会について
- ・第9回2月9日（火）、19時から。
- ・2月24日（水）に計画案の答申、10時から正副委員長に出席をお願いしたい。委員の方も日程あえばご出席いただきたい。

閉会